

第5学年 道徳指導案

平成26年6月26日(木)

1 主 題 「後世に伝える 伝統の業」 4－(7) 郷土愛

2 本時の目標

- (1) 郷土の発展に尽くした先人の業績を知る。
- (2) 郷土の発展を願う気持ちを高める。

3 本時をするにあたって

本校の5年生は、総合的な学習の時間において、甚目寺の産業を学習する。その上で、産業の内容を知るだけでなく、産業を支える人々の思いを知らせたい。最初に、刷毛の創始者である山崎政三郎氏に関する資料から、その功績や思いについて考える。次に、刷毛組合の方のメッセージを用いて、伝統産業を今に受け継ぐ人たちの思いに迫っていく。そして、自分自身も郷土の発展に努めた人々に習い、「ふるさと甚目寺」をこれから担っていこうとする気持ちを育てたい。

4 準備・資料

テレビ パソコン 視覚資料 読み物資料(教師のみ) フラッシュカード ワークシート

5 指導過程

段階 時間	学習活動	[支] 支援 ・留意点 評価
向 か う (5 分)	1 刷毛の出前授業を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合ノートを見たり、出前授業での刷毛の写真を見たりして、甚目寺の昔から伝わる産業である刷毛のことについて思い出させる。 ・ 山崎政三郎や刷毛を作る人の写真を提示し、生産する人に目を向けさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">刷毛作りにかかわる人たちの思いについて考えよう</div>
さ ぐ る (15 分)	2 山崎政三郎についての資料を読む。 3 山崎政三郎の努力について考える。 4 山崎政三郎の思いについて考える。 (1) ワークシートに自分の考えを書く。 (2) 発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師が範読しながら、説明を補足し、児童が場面を把握しやすいようにする。 ・ 刷毛作りを習得するまでの出来事を確認しながら考えさせる。 ・ ワークシートのふき出しを考えさせることにより、山崎政三郎の気持ちを想像しやすいようにする。 [支] 自分に置き換えることで、想像させる。
深 め る (20 分)	5 刷毛作りを受け継いでいる人々の思いについて考える。 (1) ワークシートに自分の考えを書く。 (2) 発表する。 (3) グループで、話し合いを行う。 (4) 自分の思いを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛組合の方のメッセージ映像を流す。 ・ このメッセージを聞いて感じた刷毛組合の方の思いについて考えさせる。 [支] メッセージの中で、印象に残った言葉を中心に考えさせる。 ・ 映像の中で言っていたことのキーワードを提示し、それを話し合わせることで、考えをより深めさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">刷毛作りにかかわる人たちのふるさとや仕事への思いに気づくことができる。【ワークシート・発言】</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛作りを受け継いでいる人々の思いを考えさせることにより、甚目寺の地場産業への自分の思いにつなげさせる。
振 り 返 る (5 分)	6 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛の生産以外にも産業にはすべて、それを担っている人たちの思いがあることを伝える。 ・ 和菓子屋の方の手紙を読む。

6 高 評

7 反 省